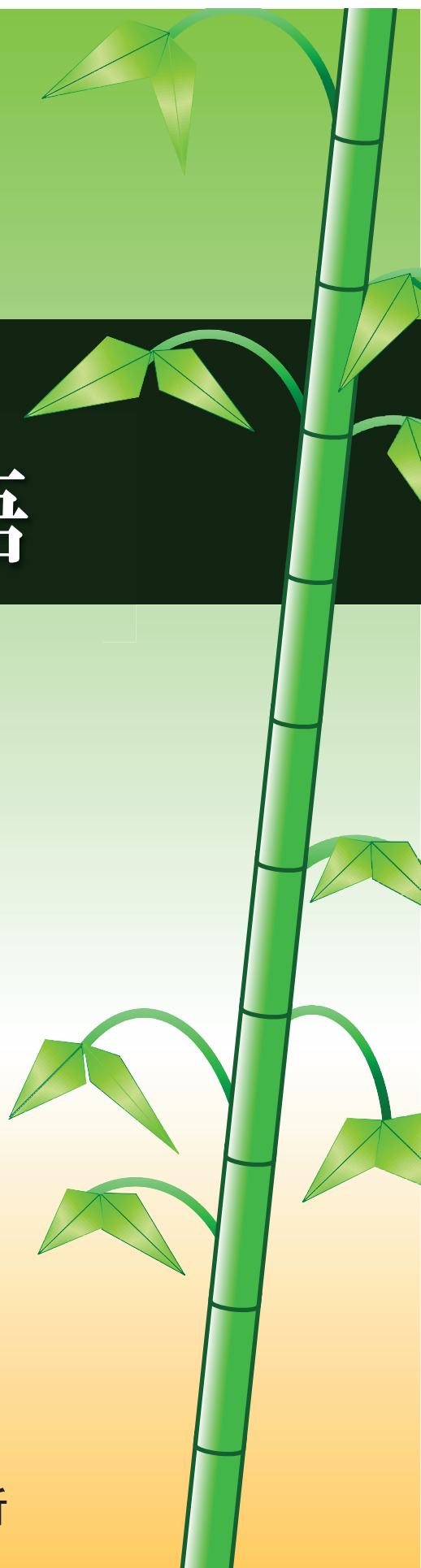


# 南信州 竹取 **再生** 物語

**放置竹林の再生  
たけのこの産地化**



下伊那地方事務所



# 背景

## 県内の竹林の約4割が集中

飯伊地域の竹林面積は624haで、全県1634haに対して38.2%を占めており、長野県内では竹林が最も多い地域である。

## 孟宗竹（モウソウチク）の北限

食用たけのこととして多く使われる孟宗竹は、西日本を中心に分布し、当地域とその周辺が北限ともいわれている。実際に、県内の他地域ではほとんど見られない。

## 放置される竹林が増加

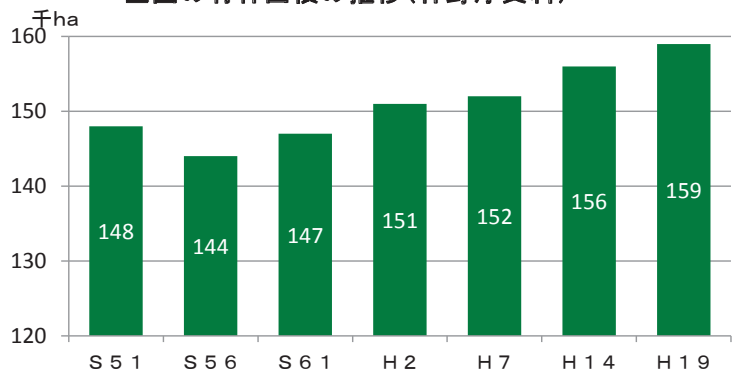
近年、プラスチックの普及で竹材の需要が減少し、中国産たけのこの輸入が増加する中で、当地域でも放置が目立ち始めた。

# 理由1

## 見過ごせば「脅威」

孟宗竹の竹林は、徐々に他の森林に侵入する性質があり、既に、九州などの西日本の各地で大きな問題となっている。放置された竹林を見過ごせば、いずれは、長野県でも脅威となりかねない。

全国の竹林面積の推移（林野庁資料）



資料：特用林産物をめぐる状況・竹関係資料（林野庁）



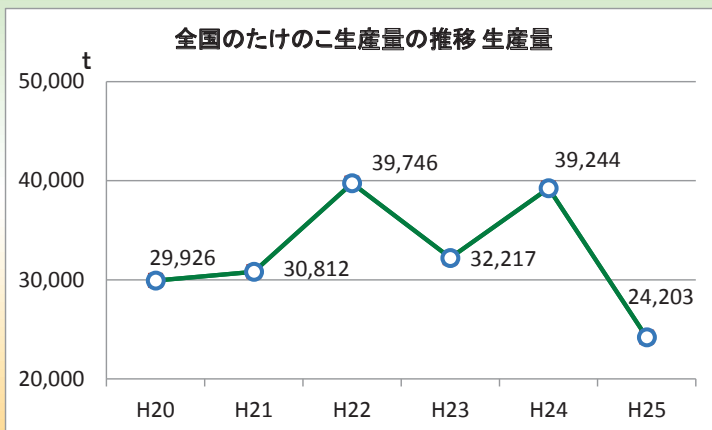
放置された竹林は密集・拡大していく

## 理由2

### 利用すれば「資源」

一方で、竹林は、竹材やたけのこが採れる有用な資源として利用されるほか、当地域では土留めの役割も果たしている。

特に、たけのこは、竹林が多い福岡県や鹿児島県などで産地が形成されており、全国では年間に3万トン前後が生産されている。



資料：平成20～25年特用林産基礎資料（林野庁）

全国のたけのこの生産量（上位）

順位	都道府県	生産量 (t)	順位	都道府県	生産量 (t)
-	全国	24,203	6	徳島県	1,010
1	福岡県	5,613	7	宮崎県	898
2	鹿児島県	5,270	8	大分県	621
3	熊本県	3,752	9	静岡県	603
4	京都府	2,477	10	愛媛県	366
5	香川県	1,089	35	長野県	17

資料：平成25年特用林産基礎資料（林野庁）

## 理由3

### 磨けば地域の「宝」

リニア新幹線開通を見据え、多様な特産品や観光資源を仕込む時期にきている。「たけのこ」の産地化を進め、地域の特産品や観光資源として磨き上げることで、地域の宝となる可能性をもっている。

	春	夏	秋	冬
収穫体験 ができる 農林産品	山菜類(全域) <b>期待!</b> たけのこ	ブルーベリー (大鹿村他) もも(北部) さくらんぼ (北部)	りんご(飯田市他) なし(松川町他) まつたけ (豊丘村他) あけび(天龍村他)	いちご(喬木村他) 市田柿(高森町他)

# 方向性

## STEP 1 放置竹林の整備・維持

まずは、放置された竹林の整備を進めていく。密集林を間伐することで、定期的に竹林に入り管理できる環境を整えていく。

## STEP 2 林産品「たけのこ」の活用

需要回復が期待される国産たけのこについて、生産と販売を拡大させていく。竹林の維持管理のためにも安定した収入源が必要となる。

## STEP 3 利益を出し、自立した体制へ

この取組を波及し自立させるには、利益が出ることが重要なポイントとなる。たけのこの販路開拓や2次加工品の開発を進めていく。

# 施策1

～ 傘をさしても通れる「竹林」～

森林の里親のノウハウを活かし、県が制度化を支援

## 竹林整備の多様な制度の創設

竹林整備のため里親、貸付、オーナー制等多様な制度を創設

- ①1年目 モデル林の創出
  - ・コスト算定の為のデータ収集
  - ・地方事務所・市町村・地元権利者で制度を検討
- ②2年目 竹林経営、里親等制度のパンフレット、ホームページ作成
- ③3年目 募集開始、経営指導・技術指導

事業期間：平成28年度～平成30年度（3年間）

対象：モデルの創出・パンフレット及びホームページ作成費

竹林には傾斜地も多い。年をとってくると、整備したり収穫するのも一苦勞。

豊丘村農家

竹林整備は地元の協力でやっている。予算などの課題もあるが、整備を推進していきたい。

村役場担当



### 地域の中核となる拠点の整備

集荷・加工・保管機能を集約、効率化した中核的な拠点を整備

- ①集荷拠点の集約にむけた地域間の連携・ネットワークづくり
- ②「たけのこ」の通年商品化に向けた、保管機能の整備・拡充

事業期間：平成30年度（予定）

支援対象：地域の中核的な役割を果たす事業者又は事業グループ

事業内容：「たけのこ」を一定期間保管できる設備の設置

予算額：300万円(冷蔵倉庫100万円、缶詰・殺菌施設200万円)

孟宗竹は給食によく使うので、量が倍に増えても受け入れ可能。長期間の保管ができるとうい。

学校給食会

缶詰装置や冷蔵用倉庫があれば出荷調整がやりやすいが、今の規模では設備投資分を回収できない。

農産加工者

### 支援先

孟宗竹が多く分布する下伊那郡豊丘村では、地域連携による先行的な取組が進んでいる。

村の支援で設立したNPO法人だいちを中心にグループを結成して、たけのこの集荷・加工・保管を行い、現在、上下伊那の学校給食に、

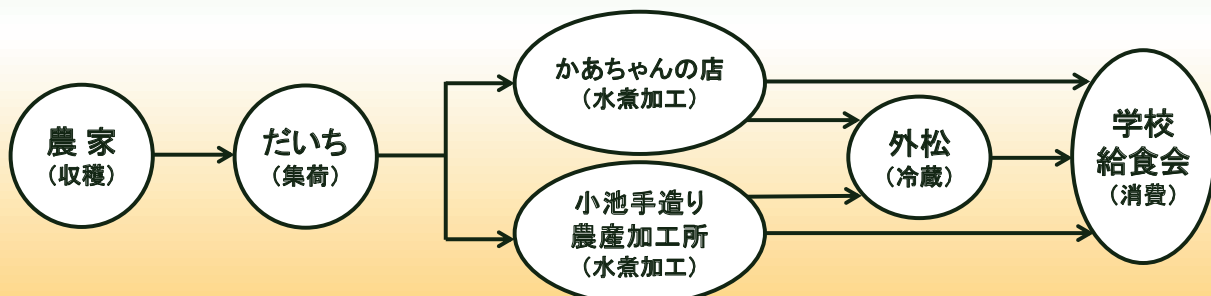
たけのこの水煮を供給している。（H27たけのこ取扱量5,638kg）

このグループを積極的に支援することで、生産量の増加、地域ブランド化を進めていきたい。



NPO法人だいち(豊丘村)

同グループの連携の仕組み



# 施策3

～ 南信州ブランドの「新しい顔」～

県の発信機能・事業化支援により総合的にサポート

## 販路の開拓・新商品の開発

県内外の市場に提案するとともに、魅力的な商品づくりを行う。

- ①都市圏に近い利点を生かし、朝採りのたけのこを販売していく。
- ②付加価値が高い商品を開発していく（メンマ、惣菜など）。

事業期間：平成30年度（予定）

事業内容・生たけのこの販売促進（銀座NAGANO、都市圏物産展）  
・商談会出展、たけのこの2次加工品を開発

予算額：150万円（販促50万円、商談会20万円、開発80万円）

生のたけのこは人気が高い。中京圏の物産展では50本が30分以内に完売

J  
A  
関  
係

特産品にしていくためには、2次加工品などにも取り組むべきである

流  
通  
・  
卸  
業

南信州 竹取再生物語

9

# 将来像

## 将来の夢（12年後）

有名産地の京都府  
ブランド化を進める石川県  
に次ぐ産地に成長

## 当面の目標（5年後）

- ◇竹林再生の取組の拡大  
竹林整備面積 のべ80ha
- ◇伊那谷の学校給食全てに  
地元産のたけのこを使用  
当地域生産量 20t/年  
(全県の現生産量に匹敵)

都道府県	竹林面積 (千ha)	たけのこ生産量 (t)	備 考
鹿児島県	16	5,270	竹林面積が日本一
福岡県	12	5,613	北九州市合馬地区が有名産地
京都府	6	2,476	「ブランド京野菜」17品目の中に登録
石川県	2	268	「加賀野菜」15品目の中に登録
長野県	2	17	

資料：平成25年特用林産基礎資料（林野庁）  
平成23年版森林・林業白書（林野庁）

南信州 竹取再生物語

10